

みどり みず たいき
緑・水・大気・ごみと資源・エネルギー・ひと

おうめ環境 ニュース

vol.16

かんきょう れいわ ねん がつ にち はつこう
おうめ環境ニュース(令和6年3月15日発行)はつこう おうめ し かんきょうせいさく か かんきょうし みん かいぎ
発行: 青梅市環境政策課/おうめ環境市民会議しやうざい ち どうきやうと おうめ し ひがしおうめ
所在地: 東京都青梅市東青梅1-11-1でん わ
電話: 0428-22-1111(内線2536・2537)めん おうめ やちやう
1面: 青梅にすむ野鳥たち

2~3面: 知っておきたい環境問題 農業・食料と自然環境

めん
4面: みんなで、カーボンニュートラルを達成しよう!

カルガモ

もく か りゅうちやう
カモ目カモ科 留鳥
たいちやう
体長: オス60cm、メス50cm

みずうみ いけ かわ たんすい みず せいそく こぎかな
湖 や池、川など淡水の水辺に生息。小魚や
こんちゆう みずくさ お ば た たまご かく
昆虫、水草、落ち葉などを食べます。卵を隠す
ために水辺の草むらや竹やぶなどに巣をつく
り、1度に10から12個の卵を産みます。孵化
した雛はすぐに歩き、最初に見た動くものを親
と認識し後を追います。全ての卵が孵化した
翌日、今度は雛が自力で餌を確保できる場所
へ引越しをします。引越しは外敵から姿をくら
ます目的も兼ねていて、雛が独り立ちするまで
数回実施されます。

しゃしん かみやまとしふみ し へいせい ねん がつさつえい
【写真: 神山利文氏】 平成28年6月撮影。
ひっこ ようす かすみかわ
お引越しの様子(霞川)

おうめ やちやう 青梅にすむ野鳥たち



シジュウカラ

もく か たいちやう ぜんご
スズメ目シジュウカラ科 体長: 15cm前後
りゅうちやう かんれい ち こたい しよくもつ すく どき わた おこ
留鳥(寒冷地の個体や食物が少ない時には渡りを行うこともある。)

すこ ちい むね はら くら もよう くら ふと
スズメより少し小さく、胸から腹に黒いネクタイ模様(オスはメスに比べて太い)が
あります。公園や庭などの平地から標高の低い山地、湿原などに生息し、果実や
種子、ミミズや小型の昆虫などを食べます。キツツキの開けた樹の穴や建物の
隙間、巣箱の内側などにメスが苔・動物の毛・綿毛などを敷いた巣を作ります。
4月~7月にかけておよそ7から10個の卵を産みメスが子育てをし、オスは食物
を巣に運びます。また群れとしても行動し、鳴き声(「ジャージャー」「ピーツピ」な
ど)の組み合わせで天敵のヘビやカラス・猛禽類などの接近を仲間へ伝えたり、
食べ物の受け渡しを合図する「言語能力」が発達していることも長年の研究観察
で証明されています。

しゃしん かみやまとしふみ し れいわ ねん がつさつえい
【写真: 神山利文氏】 令和5年5月撮影。かんきょうげつかん てんじ
環境月間のパネル展示

かんきょう かいさいよてい おうめ環境フェスタ2024開催予定

おうめ環境フェスタは、自然と共生するくらしの提案や、環境活動に関わる人々の
ネットワークづくりを目的として開催しています。

今年も6月の環境月間中に、市役所1階ロビーで環境保全団体のパネル展示を
行うほか、「おうめ環境マップ」のリニューアルに伴う掲載団体・法人の追加募集、
基調講演の開催を予定しています。

詳細は、今後の広報おうめなどでお知らせしていきます。ぜひ、ご参加ください!

かんきょう
「おうめ環境マップ」
市役所や市民センターで
配布しています

し かんきょうもんだい
知っておきたい環境問題

のうぎょう しょくりょう しぜん かんきょう
農業・食料と自然環境

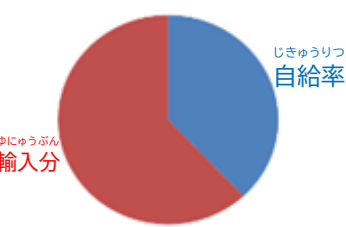


世界の食料生産の多くは石油から作られた肥料や農薬を使用する大規模な化学農法によるもので、気候変動や生物多様性・人の健康への影響が危ぶまれている。

みどりの食料システム戦略(農林水産省)
自然災害に強くカーボンニュートラルで持続可能な食糧生産・流通・消費をめざし、農業の担い手不足や食品ロスを改善、農薬や化学肥料の使用量を現在の半分に減らし、有機農法の作付面積を25パーセントに増やすことなどが2050年までの目標。



日本の食糧自給率は38パーセント



「自然農法」

日本で生まれた栽培法。化学肥料・農薬・有機肥料を使わない。機械で耕さず、草取りも控える。自然の中の植物・昆虫・微生物のはたらきで土の中の栄養を保つ。根が深く伸び、乾燥や病気に強い収穫量を増やすことが難しい。個人や団体によって方法が異なり、法律の定義が無い。

私たちにできること
近くの生産者を応援しよう！
自分で作物を育てよう！

「有機農法」

化学肥料を使用しない・農薬を使用しない・遺伝子組み換え技術を利用しない。家畜排せつ物や落ち葉・食品残渣など有機物のみを肥料とする。捨てられるものを利用できる資源循環型農法。肥料のやりすぎや害虫、病気を防ぐ技術と手間が必要。



虫に食べられると売れない

「慣行農法」

家畜排せつ物や食品残渣などの有機肥料と化石燃料などから作られる化学肥料を使用し、殺菌・殺虫剤、除草剤や成長を促すホルモン剤などの農薬を使用して収穫量と商品価値を保ち、草取りなど重労働を減らす。最も多く行われている栽培方法。

「ポストハーベスト」

外国から輸入される小麦や果物を、輸送中や倉庫保管中のカビや害虫の発生を防ぐために収穫後にも農薬が散布されること。

「遺伝子組み換え作物」

ダイズやトウモロコシ、食用油をとるナタネなど、味噌・豆腐・菓子など加工食品の原料、卵や肉のもととなる家畜の飼料として、外国で安く大量に生産される農作物には、除草剤などの農薬や害虫に耐えられるよう遺伝子を組み替えた種子が多く使用されている。



N₂O
温室効果ガス
一酸化二窒素の発生

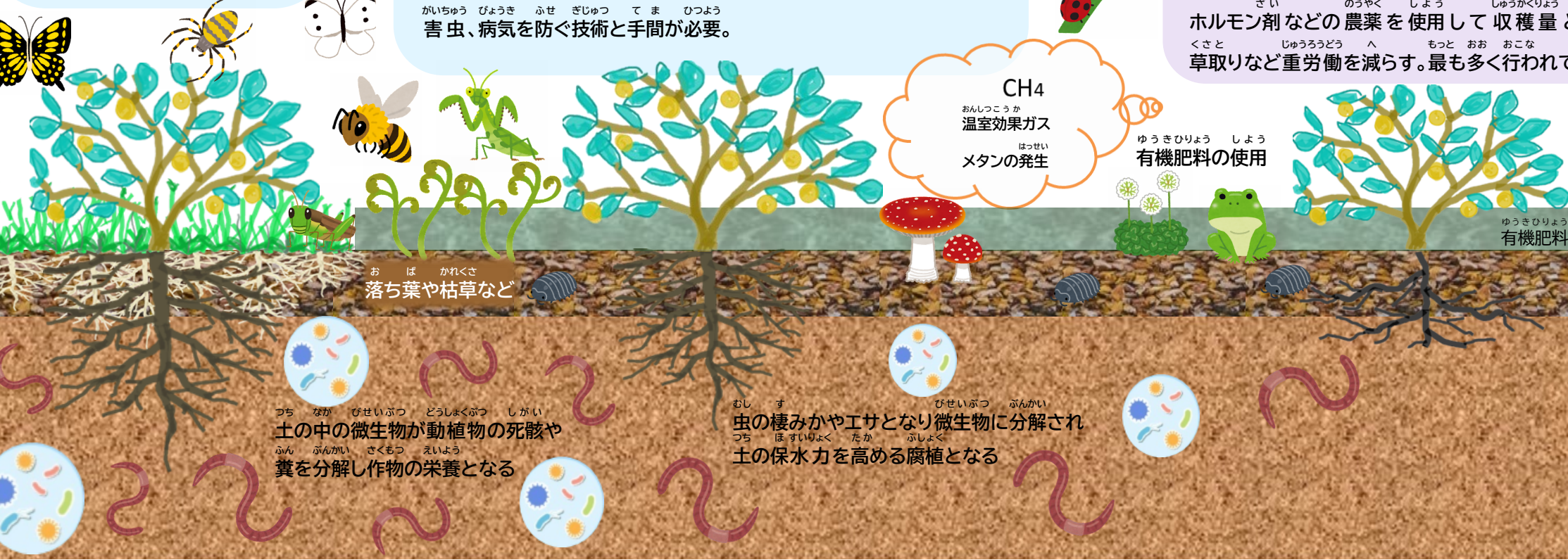
「熱帯林とパーム油」



インドネシア・マレーシアで世界の8割を生産するパーム油は熱帯林を伐採した大規模農園で栽培されている。

「水耕栽培」

水と肥料、光や温度などを人工的に管理する栽培。主に屋内で農薬を使用しない栽培も行われている。



【講師3名のパネルディスカッションから】
子どもが自由に山に入る山作り方策の検討が必要。子どもが山に入り、自然の不思議さを知り、直接自然に触れることで、予想をはるかに超える感性の高まりが見られることがわかり、参加者の方々は、一層理解を深めることが出来ました。

① 森林と地球環境の関わりを知る
② 林業の現実と将来性を学ぶ
③ 林業作業の体験学習
④ 地域の人々と出会い、その産業を学ぶこと
です。今では生徒たちも、地域の小学生に、山の間伐を教えています。また、地域の人工林は、暗い杉・松しかないで、毎年巨神山地に、明るいブナ林を見に行きます。今年は初めて見る森に、感動して大樹の前で動かなくなつた生徒が、「俺やつぱり林業や」と言っていました。現在、卒業生の10名以上が、各地の林業系の組合や作業所で働いています。

鬼沢真之氏 (学校法人自由の森学園 理事長)
「2017年ユネスコスクール登録」
1985年飯能市に、「自由の森学園」が建設の話を持ち上がり、保護者や生徒たちの反対運動が起きた。そこで地域との調和を図るため、2002年、高等学校で学園周辺の民有林を借りて選択林業講座を始めました。講座の目的は、
① 森林と地球環境の関わりを知る
② 林業の現実と将来性を学ぶ
③ 林業作業の体験学習
④ 地域の人々と出会い、その産業を学ぶこと
です。今では生徒たちも、地域の小学生に、山の間伐を教えています。また、地域の人工林は、暗い杉・松しかないで、毎年巨神山地に、明るいブナ林を見に行きます。今年は初めて見る森に、感動して大樹の前で動かなくなつた生徒が、「俺やつぱり林業や」と言っていました。現在、卒業生の10名以上が、各地の林業系の組合や作業所で働いています。

「青梅の山は子どもがつくる」
「大人もいっしょに創ろうよ」
12月9日 講演内容より
本公演は、幼少期・青年期教育に、なぜ「山遊び・山仕事をとり入れたかを、3名の講師にお話しいただきました。
横山牧人氏 (青梅幼稚園 園長)
「共に生き共に育つ」を基本理念とし、「少人数保育」「自然保育」の下に、幼少期の原風景として、青梅の美しい山並みが浮かんでくるような保育を心がけています。2018年から子ども達と山に入り、今では毎週、山肌や沢を巡る「森遊び」に出かけています。森はサワガニや木の葉など、一つ一つ違ういのちを生かしてくれれます。その中で遊ぶ、ひとりひとり違う子ども達には、驚くほど豊かな感性をあたえてくれます。これからは、更に楽しく走り回ったり、木のほりのできる、面白い混交林の山作りを目指し取り組んでいきたいと思っています。

みんなで、カーボンニュートラルを達成しよう！

地球温暖化が進行中・・・

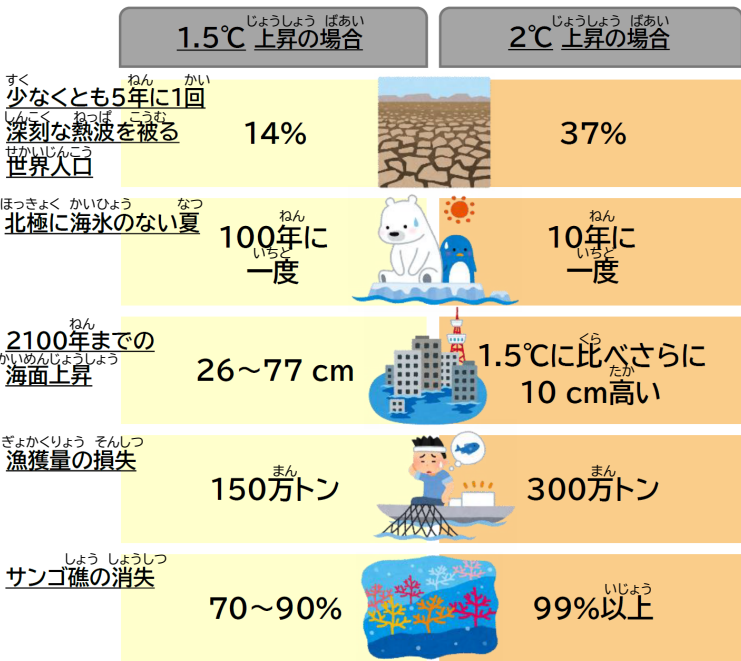
日本の過去100年間の平均気温は1.2℃上昇しています。このまま、何も対策を取らなければ、21世紀末には、20世紀末と比較して、最大3.4～5.4℃上昇すると予想されています。

地球温暖化は、大気中に二酸化炭素(CO₂)といった温室効果ガスが増えることが原因となっています。私たちが、自動車に乗り、ガスを使ってお湯を沸かしたり、電気を使うことで、化石燃料が消費され、CO₂が排出されます。

温暖化による気候変動は、私たちの生活にさまざまな影響を及ぼします。

●自然災害の増加

洪水、雪害、台風、土砂災害、渇水の増加、激甚化 につながります。



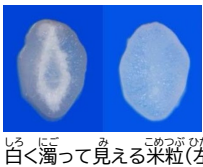
※① 災害の規模や範囲が以前よりも大きく激しくなること
※② 日本語で「気候変動に関する政府間パネル」と呼ばれる、気候変動について科学的に検討する組織
※③ IPCC 1.5℃ 特別報告書より作成

へえ～、0.5℃違うだけで、
こんなに被害が違うんだね



●農産物や水産物に対する影響

米の品質低下や収穫量の減少、ブドウやリンゴの着色不良を引き起こします。海水温の上昇は、サンマやサケなどの回遊ルートに影響を与え、漁獲量が減少しています。



●健康に対する影響

熱中症で亡くなる方の増加や、デング熱を媒介するヒトスジシマカの生息域が北上します。色づきが不十分な果実



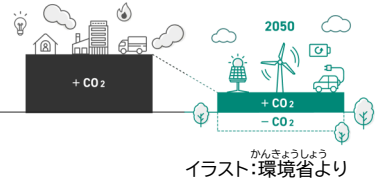
写真：農林水産省「平成27年度地球温暖化影響調査レポート」より

カーボンニュートラルの実現に向けて

政府は2050年、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しています。

「実質ゼロ」とは、温室効果ガスの全体の排出量から、吸収量(植林や森林管理などによるもの)を差し引いてゼロにするということで、これを「カーボンニュートラル」といいます。

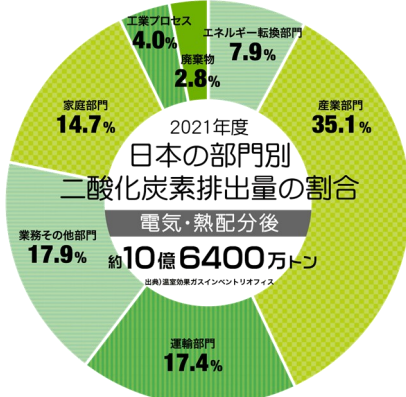
青梅市を含めて、全国1,013自治体(46都道府県、570市、22特別区、327町、48村)が、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを表明しています。(2023年12月28日時点)



イラスト：環境省より

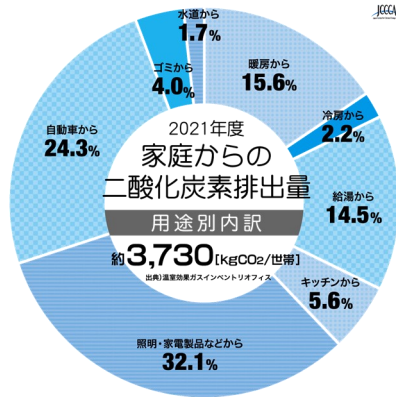
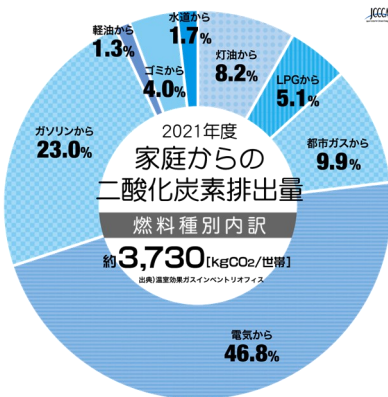
CO₂はどこから排出されるの？

2021年度に、日本で排出されたCO₂は、約10億6,400万トン、一世帯あたりでは約3,730 kg、一人あたりでは約1,780 kgでした。総排出量のうち、家庭は14.7%を占めています。



- ・自家用車の利用を控えて公共交通機関を利用する
- ・冷暖房の温度を1℃変える
- ・見ていないテレビを消す
- ・使っていない照明を切る
- ・歯磨きをしている時には水を止める など

身近なことからCO₂削減に取り組みましょう



出典：温室効果ガスインベントリオフィス／
全国地球温暖化防止活動推進センターHPより

市の取り組み

●EV等の導入

こうようしゃとして、電気自動車(EV)を40台、プラグインハイブリッド車(PHEV)を7台、燃料電池自動車(FCV)を1台導入しています。



急速充電器(市役所)

市では、EV等の普及に向けて、充電設備の拡充にも取り組んでいます。市役所本庁舎のほか、吉川英治記念館の駐車場にも設置しています。

●みどりのカーテン

建物の緑化を行うため、家庭や学校にゴーヤの苗を配っています。植物は成長の過程で、二酸化炭素を吸収するほか、夏の日差しを防いだり、葉の出す水蒸気が周りの温度を下げることで、部屋を涼しくすることができます。

市では、「みどりのカーテンコンテスト」として、外観の美しさや育成努力などを総合的に審査し、優秀者の表彰を行っています。



成木小学校

保護者の方へ

東京都は、気候危機への対応とエネルギーの安定確保に向け、電力を「H：へらす、T：つくる、T：ためる」の頭文字をとった「HTT」をキーワードに、節電や太陽光発電、蓄電池等の設置を呼び掛けています。

省エネ・再エネ・創エネ機器、環境に優しい自動車、水素エネルギーなどに関する補助金についての情報はクール・ネット東京のホームページをご覧ください。

【URL】<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy>

青梅市の補助制度については、市ホームページや広報おうめにて、随時お知らせいたします。申請要件等をご確認のうえ、ぜひご活用ください。

